

慶良間諸島国立公園における地域による サンゴ礁の保全と地域振興の取組

平成26年6月29日

沖縄県座間味村

村長 宮里 哲

*ホエールウォッチング協会の設立

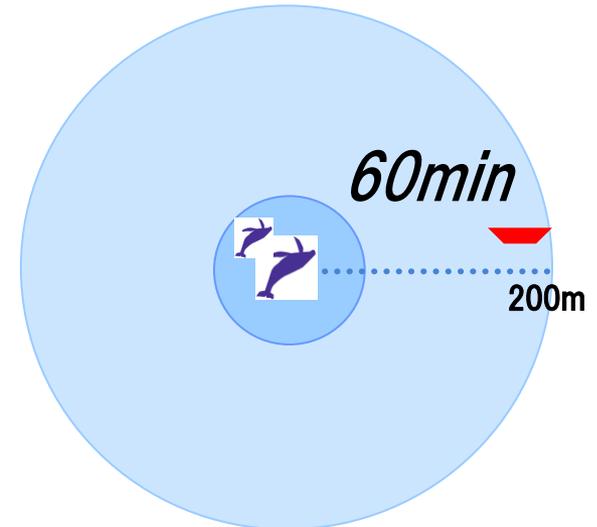
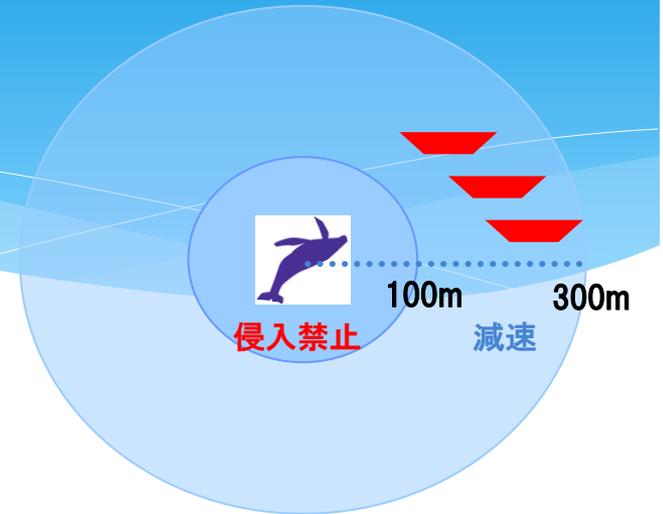
- ‘90. 4 事業者と役場職員が小笠原に視察
- ‘91. 3 座間味村ホエールウォッチング協会設立。
※同時に自主ルール制定(別紙1)
- ‘92 ツアー開始(旅行会社メイン)
クイーンざまみ(定期船)を利用し週4日。

本会は、座間味村海域におけるザトウクジラの保護とホエールウォッチングの振興を図ると共に、会員相互の連絡と協調を図りながら、座間味村の観光発展に寄与することを目的とする。

(規約第3条 1991年)

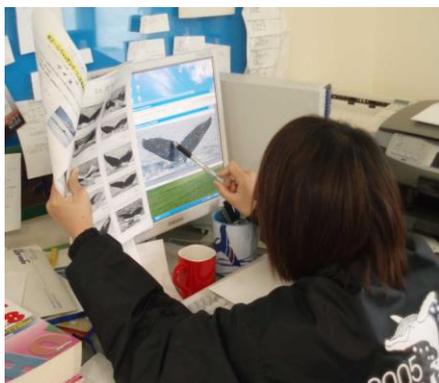
座間味村ホエールウォッチング協会ルール

- * くじらがビックリしないように、あまり近付かないようにしましょう
- * くじらのいつもの生活をなるべく邪魔しない様にしましょう。
- * 親子くじらは子育ての邪魔にならないようになるべくそっとしておきましょう。



クジラの個体識別

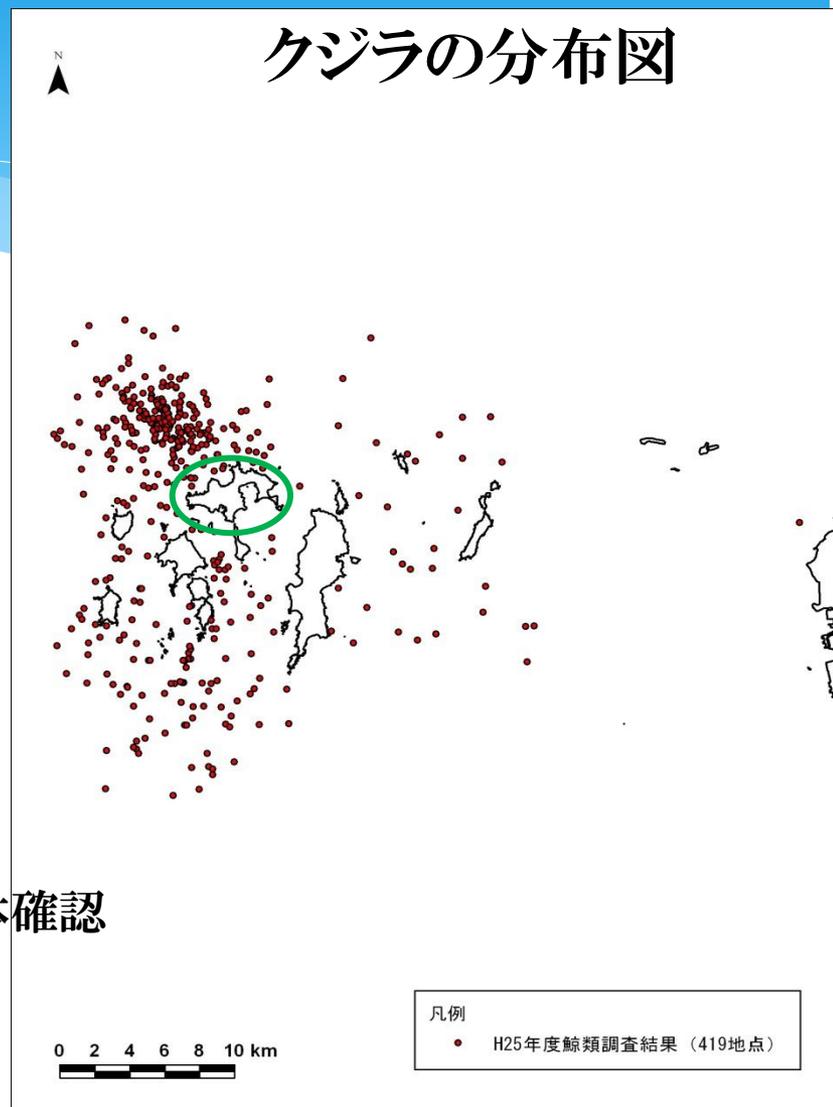
頭数



年間約200個体確認

これまでに、約1200個体確認

クジラの分布図



村内ダイビング協会の活動

オニヒトデ・シロレイシガイダマシ駆除



慶良間諸島では、サンゴ礁海域を全て護ることが深野であることから、海域最重要保全区域(5地点)を優先的に保全する方針を取っている。

近年ではQAB(琉球朝日放送)美ら島募金をいただき、ダイバーの皆さんのタンク代や船の燃料費に使われてきました。

地元ダイビング協会による地域活性化イベント

ファン感謝月間イベント



毎年11月
毎週土曜日開催



地元ダイビング協会による環境教育

小学生のサンゴ産卵観察会

シュノーケル技術指導



練習2回



リハーサルも実施



小学校3年～6年



ウスエダミドリイシ産卵



地元ダイビング協会による環境教育

体験ダイビング授業



中学生1年～3年



マンツーマンで指導

3年生のみ卒業記念でサンゴの移植

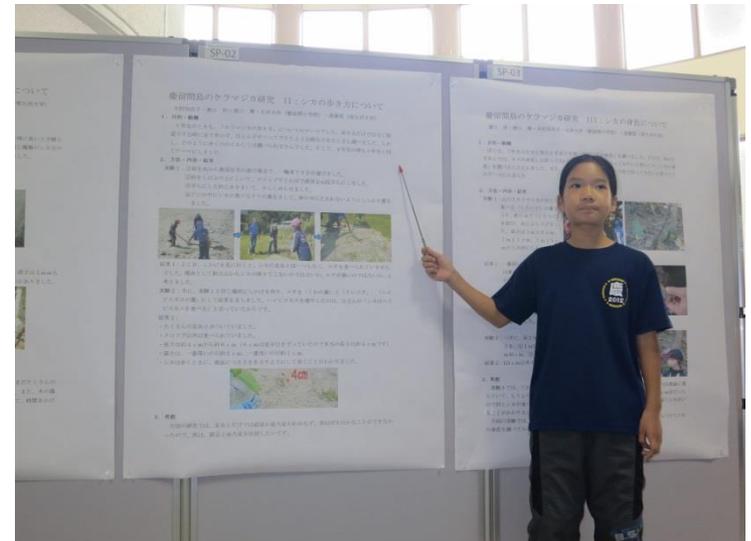


移植したサンゴが産卵した実績もあります。

ケラマジカの観察



慶留間島に生息している国の天然記念物「ケラマジカ」の生態についての研究を2003年から取組、成果を沖縄生物学会で発表しています。



イルカの標本作成



ざまみイルカ会

骨格標本作製募金に
ご協力お願い致します。

平成23年8月6日、座間味島の阿真ビーチに1頭のシフハイルカが
生きてまま打ち上がっていました。阿真区民を中心に懸命の救助活動
を行いました。翌日の夕刻、とうとう天に召されてしまいました。



このイルカに「骨格標本」という新たな命を吹き込もうと思い、
有志が集まり活動しています。



←
完成予定図

将来に向けての村の資料として、また環境教育の一環として、
村内の子供たちにも関わらせ発掘・組み立て作業を行い骨格
標本作りを行います。
発掘は2月25日午後「くじらについての語り合い」の一環
として国立科学博物館の協力の元行います。

会員募集中！！

発掘作業や子供たちへの呼びかけを手伝ってくれる会員を募集しています。



連絡先：ざまみイルカ会事務局（仮）
098-896-4141 座間味村ホエールウォッチング協会内



組立式の 標本完成！



世界が恋する海

The Sea the World Falls in Love with

